

科目名	数値計算法Ⅱ Numerical Methods II			担当教員	伊藤 勉		
学 年	4 年	学 期	通 年	履修条件	選択	単位数	2
分 野	専 門	授業形式	講義・演習	科目番号	15131026	単位区分	履修単位
学習目標	<p>C 言語プログラミングにて、最小二乗法、補間法、数値積分、常微分方程式の初期値問題を数値的に解く能力を身につける。上述の各項目について、以下のことができることを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 数値計算法の基礎式を導出することができる。 2. 基礎式を用いて数値解を電卓、手計算で求めることができる。 3. 数値解をコンピュータで計算するためのフローチャートが作成できる。 4. 数値解をコンピュータで計算するためのプログラミングができる。 						
進め方	<p>各項目について、以下の手順で授業を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 数値的に解くための基礎式の誘導について解説する。 2. 基礎式を使って数値計算する例題を示し、演習問題を電卓で解いて提出する。 3. 上記の計算過程をフローチャートで置き換え、それにしたがってプログラミング実習を行う。 4. プログラムを用いた応用問題に取組み、その結果を提出する。 						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 最小二乗法 (14) <ol style="list-style-type: none"> (1) 直線回帰による最小二乗近似 (2) 曲線回帰による最小二乗近似 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 回帰直線、回帰曲線の基礎式を導くことができる。 ・ 基礎式を用いてデータの回帰直線、回帰曲線を計算し、フローチャートの作成およびプログラミングができる。 <p style="text-align: right;">学習・教育目標との関連 (B-1)[B-1]</p>			
	[前期中間試験] (2)						
	<ol style="list-style-type: none"> 2. 補間法 (14) <ol style="list-style-type: none"> (1) ラグランジュ補間法 			<ul style="list-style-type: none"> ・ ラグランジュ補間法による数値積分の基礎式を導くことができる。 ・ 基礎式を用いてラグランジュ補間の値を計算してフローチャートの作成およびプログラミングができる。 <p style="text-align: right;">学習・教育目標との関連 (B-1)[B-1]</p>			
	前期末試験						
	<ol style="list-style-type: none"> 3. 数値積分 (14) <ol style="list-style-type: none"> (1) 台形公式による数値積分 (2) シンプソンの 1/3 公式による数値積分 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 台形公式、シンプソンの公式による数値積分の基礎式を導くことができる。 ・ 基礎式を用いて数値積分値を計算してフローチャートの作成およびプログラミングができる。 <p style="text-align: right;">学習・教育目標との関連 (B-1)[B-1]</p>			
[後期中間試験] (2)							
<ol style="list-style-type: none"> 4. 常微分方程式の初期値問題の数値解析 (14) <ol style="list-style-type: none"> (1) オイラー法 (2) ルング・クッタ法 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 常微分方程式の初期値問題を数値的に解く、オイラー法、ルング・クッタ法の基礎式を導くことができる。 ・ 基礎式を用いて数値積分値を計算してフローチャートの作成およびプログラミングができる。 <p style="text-align: right;">学習・教育目標との関連 (B-1)[B-1]</p>				
後期末試験							
試験返却 (1)							
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価の内訳に関して、レポート提出 (1 章, 2 章, 3 章, 4 章: 400 点満点) および全 4 回の定期試験 (400 点満点とする) を合計し、100 点満点に換算して評価する。 ・ 評価の重みは、学習項目の 1 章を 25%, 2 章を 25%, 3 章を 25%, 4 章 25% として評価する。 						
履修要件	プログラミング基礎 (2 年), 数値計算法 I (3 年) を修得していることが望ましい。						
関連科目	プログラミング基礎 (2 年) → 数値計算法 I (3 年) → <u>数値計算法Ⅱ (4 年)</u> → 計算力学 (5 年)						
教 材	<p>教科書: 杉江日出澄, 鈴木淳子: 「C 言語と数値計算法」, 培風館, および, テキストを配布 参考書: 林晴比古 明快 C 言語 ソフトバンクパブリッシング 水島二郎, 柳瀬真一郎: 「理工学のための数値計算法」, 数理工学社 など</p>						
備 考	授業には教科書, 関数電卓を必ず持参のこと。 各章ごとにテキストを配布するので, 各自でファイルを用意し綴ること。						